

2015.8.1小林可夢偉選手来場！

可夢偉選手
エンジョイ
カート
ベストラップ：
1:09.961

F1の技カートで披露



カート教室のエキシビションレースで走る小林可夢偉選手(1)＝新発田市

胎内 小林可夢偉選手が指導

胎内市のサーキット場、スピードパーク新潟で1日、世界最高峰の自動車レースF1でも活躍した小林可夢偉選手(28)が指導す

る、レーシングカート教室が開かれた。県内外から約70人が参加し、速く走る技術に触れた。

同サーキット場を本拠地とする「アルビレックスレーシングチーム」が主催した。小林選手は2014年

モア
モア・ビューアーで
動画が見られます

まで5シーズン、F1ドライバードライバーとして活躍。表彰台にも上った。15年からは国内のスーパーフォーミュラに参戦している。

教室では、全国から集まった小中高校生や新潟市内の専門学校の生徒らが、1周約1ギのコースを走りアドバイスを受けた。小林選手は「技術より挑戦することが大事。どんどん自分の走りを試してほしい。レースは迷ったら終わりだ」と気持ちの大切さを強調した。

エキシビションレースには小林選手も参加。最後尾からスタートし、貫禄の走りを見せてトップでゴールした。石川県の高校2年生、実川光生さん(17)は「小林選手と一緒に走ることができてうれしい。自分の限界を試すことができた」と納得の表情だった。

小林選手は「広くて立派なコースだ。おもしろいレースができる環境がある。一緒にレースできるように腕を磨いてほしい」と未来のレーサーに期待していた。

↑新潟日報 2015.8.7朝刊

夢実現へ挑戦続けて

レーサー小林選手 学生らにエール 新潟

世界最高峰のF1など国内外のカーレースで活躍している小林可夢偉選手(28)のトークイベントが31日、新潟市中央区で開かれた。写真。小林選手は、モータースポーツ業界を志す専門学校生ら約60人に「挑戦し続ける気持ちが必要だ」とエールを送った。

胎内市のサーキット場会社が運営する「アルビレックスレーシングチーム」が

主催した。小林選手はF1日本グランプリで3位に入った実績を持ち、今年から国内レース・スーパーフォーミュラに参戦している。小林選手は「F1レーサーになりたいと言っても周りに相手にされなかったが、逆に褒め言葉と受け止めて奮起した。熱意を持って続ければ応援してくれる人は増える」と助言。「モータースポーツは毎日練習



することができない。日頃からイメージトレーニングなど頭を鍛えることを心掛けてい」と語った。新潟市東区の専門学校生、上村雄瑠さん(20)は「夢を実現するために毎日の取り組みの積み重ねが大切だと実感した」と話した。

↑新潟日報 2015.8.1朝刊